

令和6年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
  - (2) 解答用紙は、3枚あります。すべての解答用紙に受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
  - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
  - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

## 【民 法】

解答はすべて解答用紙の所定欄に記入しなさい。

### 第1問

民法に関する次の各問いの（ ）に入る言葉を答えなさい。なお、（ ）が複数ある場合は、同じ言葉が入るものとする。 （各4点×10問）

- (1) 精神上の障害により事理を弁識する能力が不十分である者については、家庭裁判所は、本人、配偶者、四親等内の親族、後見人、後見監督人、保佐人、保佐監督人又は検察官の請求により、（ ）開始の審判をすることができる。 [漢字2字]
- (2) 相手方に対する意思表示について第三者が（ ）を行った場合においては、相手方がその事実を知り、又は知ることができたときに限り、その意思表示を取り消すことができる。 [漢字2字]
- (3) （ ）者がその（ ）を奪われたときは、（ ）回収の訴えにより、その物の返還及び損害の賠償を請求することができる。 [漢字2字]
- (4) 担保物権である（ ）は、債務者がその目的である動産をその第三取得者に引き渡した後は、その動産について行使することができない。 [漢字4字]
- (5) 債権の（ ）の意思表示がされたことを知り、又は重大な過失によって知らなかった譲受人その他の第三者に対しては、債務者は、その債務の履行を拒むことができ、かつ、譲渡人に対する弁済その他の債務を消滅させる事由をもってその第三者に対抗することができる。 [漢字4字]
- (6) 当事者の一方がその債務を履行しない場合において、相手方が相当の期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、相手方は、契約の（ ）をすることができるが、その期間を経過した時における債務の不履行がその契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、契約の（ ）をすることができない。 [漢字2字]
- (7) （ ）は、当事者の一方が種類、品質及び数量の同じ物をもって返還をすることを約して相手方から金銭その他の物を受け取ることによって、その効力を生ずるが、書面でする（ ）は、当事者の一方が金銭その他の物を引き渡すことを約し、相手方がその受け取った物と種類、品質及び数量の同じ物をもって返還をすることを約することによって、その効力を生ずる。 [漢字4字]
- (8) 土地の（ ）の設置又は保存に瑕疵があることによって他人に損害を生じたときは、その（ ）の占有者は、被害者に対してその損害を賠償する責任を負うが、占有者が損害の発生を防止するのに必要な注意をしたときは、所有者がその損害を賠償しなければならない。 [漢字3字]
- (9) 六親等内の血族と配偶者と三親等内の姻族を（ ）という。 [漢字2字]
- (10) （ ）とは、相続人が、相続によって得た財産の限度においてのみ被相続人の債務及び遺贈を弁済すべきことを留保して、相続の承認をすることをいい、相続人が数人あるときは、（ ）は、共同相続人の全員が共同してのみこれを行うことができる。 [漢字4字]

## 第2問

次の問題について、それぞれ論じなさい（両問とも解答用紙各10行以内で記入すること）。

- (1) Aは、B所有の甲建物（賃貸ビル）に、Bに対する貸金債権を担保するための抵当権を有し、その登記を備えていた。Bはその建物をCらに賃貸していたが、BのCらに対する現在及び将来のすべての賃料債権が、BからDに譲渡され、Cに対し確定日付ある証書で譲渡の通知がなされた。この場合において、Aは、抵当権に基づき、譲渡された賃料債権にその権利を行使していくことができるか、判例の結論とその理由を説明しなさい。（配点20点）
- (2) 民法715条の使用者責任に関し、同条3項の使用者から被用者に対する求償権が制限される判例の結論とその理由、および、被用者から使用者への逆求償についての判例の結論とその理由を説明しなさい。（配点20点）

## 第3問

AはB店に桃（品種 あかつき）400個を所定の期日に20万円で売却する契約を締結した。1から4の事実を前提として〔設問①〕を、5から8の事実を前提として〔設問②〕を論じなさい。

- 1 AB間の売買契約において、BがAのところに桃400個を取りに来るものとされた。
- 2 Aは所定の期日までにBに引き渡す桃400個を収穫して全部箱詰めにし、収穫した他の桃と分離して倉庫に保管し、Bに対し準備ができたので取りに来るよう催告した。
- 3 Bに引き渡す桃400個が保管されているAの倉庫は、普段は簡易な錠で施錠されているだけであつたが、Aは強力な倉庫錠も利用して二重に施錠した。
- 4 その後、BがAのところに桃を取りに来る前に、農作物をねらった窃盗団によってその錠がこわされ、Aの倉庫内の箱詰めにした桃400個が盗み去られてしまった。

〔設問①〕 1から4の事実を前提とした場合、AとB店の間の法律関係がどうなるかを論じなさい。（配点 20点）

- 5 AB間の売買契約においてAが所定の期日にB店へ桃400個を持参するものとされた。
- 6 Aは所定の期日にB店に赴き、注文通り桃400個を提供したが、B店の倉庫が焼失したため、B店は受領することができなかった。
- 7 Aは仕方なく桃400個を持ち帰り、Aの倉庫で保管したが、Aが所有する倉庫は常温での保管であったため腐ってしまい、桃は売る商品としての価値がないものとなった。
- 8 桃をAのところに持ち帰るため、Aは運送業者Cに5万円の出費を余儀なくされた。

〔設問②〕 5から8の事実を前提とした場合、AとB店の間の法律関係がどうなるかを論じなさい。（配点 20点）

以上